

**製品名: RNA ポリメラーゼ III サブユニット C7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00525**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 26 kDa; Observed MW: 26 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	POLR3G
別名	POLR3G; DNA-directed RNA polymerase III subunit RPC7; RNA polymerase III subunit C7; DNA-directed RNA polymerase III subunit G; RNA polymerase III 32 kDa subunit; RPC32
遺伝子 ID	10622
SwissProt ID	O15318
免疫原	抗血清はヒト POLR3G の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

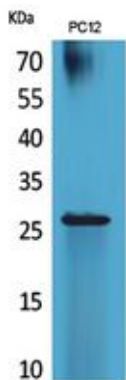
**背景**

DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として使用して、DNA から RNA への転写を触媒します。

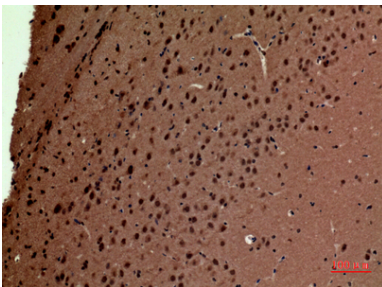
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

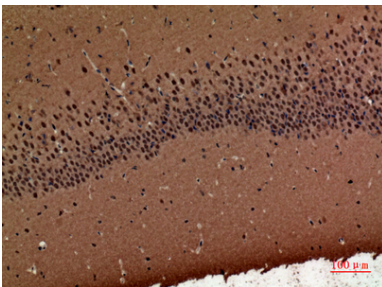
## 画像データ



RNA ポリメラーゼ III サブユニット C7 抗体を使用した PC-12 溶解物中の RNA ポリメラーゼ III サブユニット C7 のウェスタン プロット分析。



RNA ポリメラーゼ III サブユニット C7 抗体を使用したパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



RNA ポリメラーゼ III サブユニット C7 抗体を用いたパラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用した。